

リビアに流れたウランが北朝鮮からのものだったと米国が分析したことで、核技術や核物質を極秘に取引する「核の闇市場」への北朝鮮のかかわりがより濃厚になった。

――面参照

核の闇市場はしばしば「パキスタンからリビアやイランといった核開発疑惑国への技術や物資の流出」ととらえられがちだった。しかし、北朝鮮が深く関与していたとすると、闇ルートは想像以上に複雑だったことになる。

核物質や核技術がテロリストに流れるのを恐れ

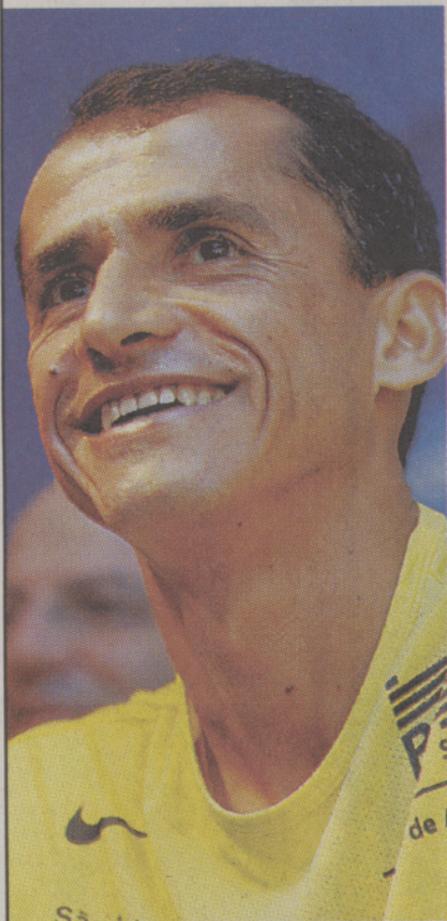
アテネ五輪後初のマラソンを走る

Vanderlei

バンドルレイ・

de Lima

デリマさん(35)



ひと

レース中に妨害を受けたアテネ五輪から半年。6日のびわ湖毎日マラソンに出場するため来日した。さわやかな笑顔は、全く変わらない。

五輪では、先頭を独走して

いた36キロ付近で沿道から飛び出した男に抱きつかれ、結局3位に。それでも両手を広げ、全身で喜びを表してゴールした。

金メダルを逃したのに、どうしてあんなに幸せそうな顔を？ 「大切なのは、自分の中で心の平和を保つことなんです」。今回も警備について

は「全く心配していない」と笑い飛ばした。

ブラジル南部の貧しい家庭に育った。子どもの頃からサトウキビ畑で働き、家計を助けた。周りと同じサッカー少年だったが、「仕事で体を動かしたり走りたりする中で、自然と陸上競技にかかわることになった」と言う。

日本ではこれまで5度のマラソンを走り、なじみは深い。「プロランナーとしての出発点は96年東京国際マラソンでの優勝。私にとって大切な国です」。08年北京五輪へ向けて、再出発の地に「びわ湖」を選んだ。手首にお守りのミサンガを着けて走る。練習中に知り合った車いすランナーが贈ってくれた。

母国ブラジルの英雄になっても「スポーツマンとしての自分は今まで通り同じ。生活も変わらない」と穏やかに話す笑顔が、人々を引きつけるのだろう。

文 柴田 真宏

写真 高橋 正徳